

**平成 19 年度 第 4 回**  
**産業界から見た土木高等教育のあり方に関する検討小委員会**  
**議事録**

日時：平成 20 年 5 月 20 日（火） 15:00～17:00

場所：ナチュレック（新宿区四谷 1-2）

出席者：村田、吉川、井上、室井、東、関根、上野、尾高、横地（代 池田）、正本  
オブザーバー：木村（ED 小委員会委員長）

（欠席：河野、吉原）

- 議題
- 1、各社のキャリアパス
  - 2、委員会の進め方・検討方法
  - 3、その他

- 配布資料
- 資料 1 「議事次第」「平成 19 年度第 3 回議事録」
- 1-2 建技、大林、竹土 キャリアパスと研修
- 資料 2 各社キャリアパス
- 2-1 日本工営 「Career Vision」
  - 2-2 オリエンタルコンサル 「わが社の人事システム」
  - 2-3 竹中土木 「業務別キャリアパス」他
  - 2-4 建設技術研究所 「キャリアパス概要」
  - 2-5 大成建設 「人材育成体系図」
  - 2-6 鹿島建設 「土木系技術者育成体系」
- 資料 3 新聞記事（建工） 【「土木」の復権】
- 3-2 JSCE2010 関連資料（目標／計画と実施状況・今後の課題）

議事：提出資料の説明

資料 1-2 井上委員

前回提出のキャリアパスを資料 1-2 の一部で再説明

資料 2-1 関根委員

社員には「どのように育てて欲しいのか」をキャリアビジョンとして冊子で示している。

資料 2-2 上野委員

従来の企業主体ではなく個人主体の人事育成策として個人の適正や志向などを踏まえて自由にキャリアパスを選択する。

資料 2-3 室井委員

業務別キャリアパスとして再整理。キャリアパスに応じた教育・研修とリンクしている。

資料 2-4 村田委員

資格等級と関連したキャリアパス（役職名称での表現）の説明。コンサルタントはほぼ同様。

#### 資料 2-5 尾高委員

制度の概要を説明。ゼネコンのキャリアパス・教育体系は、いずれも殆ど同じようなものである。

オブザーバー：教育の立場から言うと、現場に行くときどんな能力が必要なのか、またどここの段階にはどんな能力が必要なのか学生にわかるようなキイワードが欲しい。

#### 今後の対応

まずキャリアパスを整理してから、能力は次のステップで考えることとする。コンサル系とゼネコン系はキャリアパスにおいて業務特性上違いがある。次回は表現を同じすべく、各委員とも同一表現（資料 2-4 参照）の資料を作成・持参する。

次回 小委員会 : 6月18日(水) 15:00～